

犯罪を犯すのは誰か？（犯罪学）

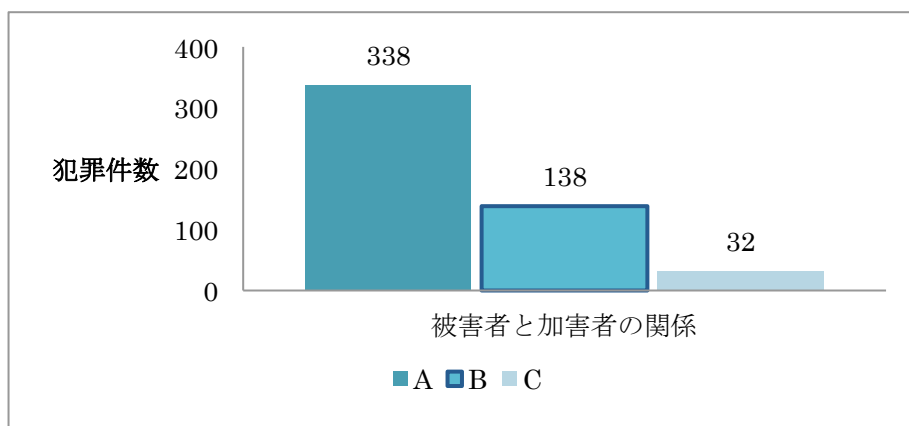
<動画のまとめ>

- 犯罪学とは、犯罪の原因や性質などについて解明し、犯罪対策に貢献することを目指す学問
- 具体的なテーマ:人はなぜ犯罪を起こすのか？ どのような人が犯罪を犯すのか？ 犯罪者をいかに社会に復帰させるか、など

ある犯罪学者は、「血縁者間での重大な犯罪事件は少ないだろう」という仮説を立てました。この学者は、自らの仮説を検証するために、1972年にデトロイト（アメリカの都市の一つ）で発生した重大な犯罪事件の690件のうち、被害者と加害者の関係がわかっている508件の内訳を検証しました。

その際、次の3つの分類が用いられました。

- 血縁者同士
- 血縁にない知人同士
- 見知らぬもの同士



検証した結果、彼の仮説は正しかったことがわかりました。また、他の資料のデータでも、同様の傾向が見られることが判明しました。

問1. 「また、他の資料のデータでも、同様の傾向が見られることが判明しました。」（下線部）という一文が添えられているのはなぜでしょうか？

- ① この資料の作成者があまり信頼されていないから
- ② 他の資料のほうが科学的に重要だと考えられているから
- ③ 1972年のデトロイトのデータが特殊ではないことを示したいから
- ④ もっともらしいことを言いたいだけで特に書く必要はない

問2. グラフのA、B、Cには被害者と加害者の関係が入ります。下線部の仮説が正しいことがわかるのは①～④のうちどれでしょうか？

	A	B	C
①	血縁者同士	見知らぬもの 同士	血縁にない 知人同士
②	血縁者同士	血縁にない 知人同士	見知らぬもの 同士
③	見知らぬもの 同士	血縁者同士	血縁にない 知人同士
④	血縁にない 知人同士	見知らぬもの 同士	血縁者同士

問3. 下線部の仮説は以下のa～eの考えを論理的に組み合わせて立てられています。a～eを論理的に最も適切に並び替えたものは①～④のうちどれでしょうか？

- a 自然界では、環境に適応した生物の個体ほど生き残る
- b 人間も生物である
- c 自分と同じ遺伝子を持つ人を大事にすれば、その遺伝子は残りやすい
- d そのような人の心理的な特徴も、人間全体に広がる
- e 生き残った生物の個体の特徴は、その生物種全体に広がる

→ → → → → 血縁者間での重大な犯罪事件は少ないだろう

	1 番目	2 番目	3 番目	4 番目	5 番目
①	a	c	b	d	e
②	b	e	d	c	a
③	a	e	b	c	d
④	c	b	d	e	a

* なお、近年では社会的環境の変化などにより、犯罪事件の傾向は変わりつつあります。

このトピックはここで終わりです。